



# 長門の話題

## Topics

### 「ながとコードモノクニ」開催 楽しみ、遊び、祝う

9月1日(日)、ルネッサなごとで「ながとコードモノクニ」が開催されました。これは、香月泰男記念館開館20周年と金子みすゞ記念館開館10周年を祝うイベントのひとつとして開催されたものです。

約1,000人が訪れました。アリーナでは、「ECOプロック ダンボール城」作りが行われました。子どもたちは親子で楽しくダンボールに包装紙を貼ったり、ガムテープでダンボールを張り合わせたりにしていました。完成後、お城で楽しく遊びまわる子どもたちの姿が見られました。



▲子どもたちに大人気だった「バルーンパーティー」

▼完成された「ダンボール城」



▲各グループで熱い議論が交わされた

▼熟議のあと、結果をまとめて発表



### 第63回全国高等学校PTA連合会大会

## 地域総ぐるみで子育てを

8月22日(木)、山口市や宇部市を会場に第63回全国高等学校PTA連合会大会・山口大会が開催され全国から約1万人のPTA関係者が参加しました。

熟議を実施しています。この取組を全国にPRできる絶好の機会と捉え、PTA活動の一環として長門市の子どもたちの未来を考える「模範熟議」を開催しました。この中で「食と健康」や「伝統と文化」などをテーマに熟議を行い、最後に討論した結果をまとめて発表を行いました。

### 第19回長門大津畜産共進会

## 愛情を持って育てる

8月27日(火)、油谷の旧人丸家畜市場で第19回長門大津畜産共進会が行われました。この日行われた共進会では、市内の農家から35頭の牛が出品され、審査が行われました。審査では、審査員が牛の大きさや肉のつき方、毛並みなどを見て等級を決めてい

きました。審査の結果、油谷上野西の永松忠さんの「ながひさかつ」がグランドチャンピオンに輝きました。「ながひさかつ」は、張りがあつて資質が良く、体の輪郭がはっきりして品位があることが評価されての受賞となりました。

9月12日(木)、深川養鶏農業協同組合から市内7カ所の老人ホームにお菓子がプレゼントされました。恵光苑では、苑生を代表して高木ヒサヨさんが「おいしいお菓子をいただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



### 深川養鶏農業協同組合がお菓子を贈呈

## 地域への感謝と活力を贈る

### 人命救助者への表彰

## 海に生きる者の気概を示す

8月30日(金)、仙崎海上保安部で人命救助者への表彰が行われました。表彰を受けたのは三隅下の藤田昭夫さん・百合子さん夫妻です。2人は、7月12日の早朝、三隅松島沿岸付近で小型ボートが転覆しているのを発見し、小型ボートに捕まって助

けを求めている男性を夫婦で連携して救助しました。表彰状が福島基記仙崎海上保安部長から手渡されると、藤田さんは、「海ではこのよ

▼福島仙崎海上保安部長に状況を語る藤田さん



8月22日(木)、地域づくりインターン事業参加大学生5人が長門市役所を訪れ、大西市長と懇談を行いました。5人は8月9日から23日まで俵山に民泊し、スイカの収穫や麦の種まきなどの農作業や地域のボランティア活動に従事しました。



### 地域づくりインターン大学生が市長と懇談

## 地方の良さを肌で知る

## 2つの事業で大きく評価

9月11日(水)、平成25年度救急功労者消防庁長官表彰受賞報告会が長門市役所で行われました。受賞したのは、長門市消防本部警防課長の吉富一夫さんです。

今回の受賞で最も評価されたのは、全国に先駆けて行った、郵便局舎はもとより集配

中の局員が消防機関への通報及び応急処置を行う「ポストメディック事業」と、旅館・ホテル等で救急事案が発生した場合に、事業所関係者による通報、救護、支援協力を求める「救急ステーション事業」の2つの事業です。県下全域への普及が図られています。

8月22日(木)から25日(日)にかけて、俄山多目的交流広場で第68回国体ラグビーフットボール競技中国ブロック大会が開催されました。

山口県は24日に鳥取県を破り、翌日の決勝に駒を進めましたが、鳥根県と対戦し50で敗れました。

▼トライを目指す山口県チーム(手前)



## 国体出場を賭け、勝負!

長門ゆずきちがやまぐちブランドに認定

## まろやかな酸味が人気

9月7日(土)、ルネッサなごとでやまぐちブランド登録証交付式が行われました。ブランドとして認定されたのは「長門ゆずきち」で、長門市の長門ゆずきちの会、下関市の長門ゆずきち友の会、萩市の田万川・長門ユズキチの会の3団体が認定証を受け取り

ました。

ゆずきは萩市田万川原産の香酸柑橘で、カボスやサダチの仲間、今年8月中旬に初出荷を迎えました。

3団体の代表者は、「これからより多くの人に受け入れてもらえるようがんばりたい」と話しました。

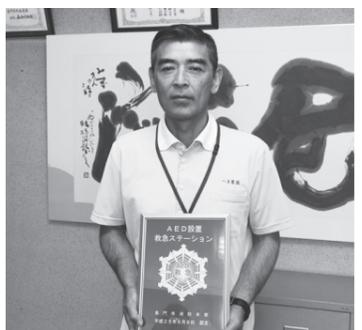
▼認定を受けた3団体。中央が長門ゆずきちの会吉村会長。



救急ステーション認定証交付式

## 適切な応急救護のために

9月9日(月)、長門市消防本部で救急ステーション認定証交付式が行われ、日置にある特別養護老人ホームへき楽園に交付されました。認定証を受けたへき楽園の増野信次主任生活相談員は、「地域の人たちにも貢献できるようにしていきたい」と話しました。



# 長門のPeople

## 仲間やお客さんとともに

### 最高の舞台を作り上げる

市民劇団員 山本春海さん(24)

今年、香月泰男美術館が開館から20周年、金子みすゞ記念館が開館から10周年を迎えます。その記念すべき年をお祝いしようというイベントが企画され、その中の一、演劇集団座 東京みかん&市民劇団員「金子みすゞの世界」こたまでしようか 仙崎編」は、金子みすゞの実弟「上山雅輔」に師事した国辺国武氏が演出、東京で活動するプロの劇団員と市民劇団員によるうたと踊りのファンタジーミュージカルです。

10月13日(日)の本番が近づき、日々緊張感が高まる中、市民劇団員の一人である山本さんは、集中して稽古に励んでいます。

## 新しい環境へ飛び込む

中学2年生で飛び込んだ油谷子どもミュージカル。第1期生として4年間活躍しました。新しい環境へ飛び込んでいく積極的な性格と両親のすすめ、そしてなによりもみすゞの詩への想いが劇団への応募のきっかけとなりました。

自分の常識を超える

演出を手掛ける国辺さんの指導は、ミュージカルの時と

はまったく違い、今までの経験は通用しませんでした。今は固定観念を捨て、自分の殻を破って常に新しい自分と稽古にぶつかっています。

演技Ⅱ違う自分を生きる

生活に欠かせないものとなったこの舞台。日々連帯感が増している仲間たちと創りあげるステージに「みすゞ」の想いが甦ります。そして、この挑戦は、観客の心に生き続けるのです。

